

【樹木・草花の部屋】

シャクヤク（ボタン科ボタン属 Paeonia lactiflora）

和名；シャクヤク **別名**；花相・枸杞（ぬみぐすり *飲み薬ではない）

ピロリトドキ目 多年草

原産地；中国

花言葉；はにかみ、慎ましやか、恥じらい、生まれながらの素質

花の色；赤・桃・黄・白



⇒ 写真－1 シャクヤクの花

撮影日：2004年5月13日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん

15年ほど前に購入したもの。大株に成長するたびに顧客やご近所に株分けしてお譲り。

綺麗な赤色に毎年、咲くのを楽しみに・・・。切り花として仏壇にも・・・。

写真－2 シャクヤクの花

⇒

撮影日：2011年5月12日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん

10年ほど前に石光寺に訪れた際、境内のお店で購入したボタンの地際から芽吹いたもの。なんで、ボタンからシャクヤクが・・・？と不思議でした。が、調べてみるとボタンはシャクヤクの台木に接ぎ木して育てるものと知りました。そのまま放置しておくとボタンが枯れてシャクヤクのみになるそうです。そこで、株をそっくり掘り出して別植え。なにか、得をした気持ちに・・・。



【樹木・草花の部屋】

＜撮影者のコメント＞

ボタンの仲間ですが、ボタンは樹木、シャクヤクは草に分類されてます。

根を乾燥したものは「赤芍（せきしゃく）」、「白芍（びゃくしゃく）」として 鎮静、鎮痛剤として使われているそうです。

「立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花」とは ” シャクヤクのように風情があり、牡丹のように華麗で、百合のように清楚” という、女性の美しさを形容することば”。

＜ちょっと一言＞

中国ではボタン（牡丹）が「花王」と呼ばれるのに対してシャクヤク（芍薬）は花の宰相「花相」と呼ばれる。

シャクヤクとボタンの違いは、シャクヤクは枝分かれせずに真っ直ぐに立つのに対して、ボタン（牡丹）は枝分かれしやすく横張りの樹形になること。

シャクヤクはボタンが咲き終わるのを待つようにして咲く。